

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年11月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2019年11月度ギャラクシー賞月間賞

BS1スペシャル「女優たちの終わらない夏・終われない夏」

11月10日放送 19:00~20:49 日本放送協会 かわうそ商会 NHKエデュケーショナル
自らの戦争体験などを背負い12年間にわたって、被爆者手記の朗読劇を続けるベテラン女優たちが美しく輝いていた。自ら企画し運営していく姿は、小劇団の団員そのもの。彼女たちの心意気には、強く訴えかけるものがあった。長尺番組ながら女優たちの半生が巧みに盛り込まれ、あっという間だった。

目撃！につぼん「激論の“トリエンナーレ”～作家と市民の75日～」

11月17日放送 6:10~6:45 日本放送協会

開幕3日目で展示中止となった「表現の不自由展・その後」。再開をめざす参加アーティストたちの行動に焦点をあて、彼らが市民と本音の議論を交わす姿を丁寧に追いかけている。アーティストたちの思いや市民の意見を真正面から紹介することで、「芸術とは何か」「表現の自由とは何か」「公共とは何か」を問いかけた秀作。

ザ・フォーカス「さよなら前田有楽～成人映画館最後の日々～」

11月17日放送 25:20~25:50 RKB毎日放送

八幡製鉄所の最盛期をともに謳歌した成人映画館が閉館する。もぎり、映写、看板書きなどほぼ館長一人で奮闘していたが、ノスタルジックな閉館物語で終わらせていない。経営者としての迷いや心身の疲労を織り込んで描き、貴重な看板や自転車などを受け継いだ昭和好きの青年に今後を託した終わり方がいい。

アナザースカイⅡ「出川哲朗」

11月22日放送 23:00~23:30 日本テレビ放送網

出川哲朗が「旅芸人」としての原点だと語るクロアチアへ。25年前、内戦のさなかにロケを行った際は、街の人たちは一切笑っていなかったという。だが今はみんなが笑顔。そんな旅を通して、いかに「僕は笑わせようが笑われようが関係ない。笑ってくれさえすればもう何でもいい」という考えに至ったのかがよく伝わってきた。